

## □ アナリスト週間相場予想

	金 Gold	白金 Platinum
江崎		
西		

## Pick up News

### [注目スケジュール]

- 6/27 米商品先物取引委員会 (CFTC) 建玉明細
- 30 米シカゴ購買部協会景況指数
- ユーロ圏消費者物価指数・速報
- 7/1 米ISM製造業景況指数
- 3 米ISM非製造業指数、米雇用統計
- 欧州中央銀行 (ECB) 理事会
- 4 米国休場 (独立記念日)

## □ テクニカル分析 (担当: 西 勝之)



チャートはNY金期近繋ぎ日足である。前日の陰線までボリンジャーの1σと-1σの間を終値ベースで往来していたが、今朝(東京6/27)入電のチャートで約1ヶ月ぶりにバンドのレンジを切り上げ、2σまでの長い陽線取りを見せている。結果前日陰線時点で2σと-2σでみて収束していたバンドが”収束→拡散”といった状態を開始しており、このまま上昇バンドウォークに入った場合は大幅な上げが考えられる。14日RSIも緩やかな上昇傾向を示しており問題なし。待ち受けるレジスタンスは裸日足チャートで見た場合は今年3月と4月に付けた2つのトップであり、約930~950ドル。このレジスタンスを突破した場合はチャート上1000ドルアッパーまではっきりしたレジスタンスが無い。4月半ばから2ヶ月以上かけて形成した大きなトライアングルフォーメーションをブレイクアップする可能性があるかと当方判断。金は強気方針のまま臨みたい。対して白金は金ほどの安定感はなく、大衆筋の買い意欲も薄い。今はファンド買いVS実需売りの構図となっており、それに加えて日計り勢の日中の出入りに荒い値動きとなっている。ボラタイルな上チャートのにも安定感を欠く白金は、金のヘッジとして使うか一時撤退、又は日計り参入のみとする事が望ましい。(6/27前引け現在)

## □ ファンダメンタル分析 (担当: 江崎 和弘)

米FOMCでは市場予想通りに金利が2.00%で据え置かれ、声明文ではインフレ警戒と景気後退リスクがほぼ同等の扱いとされた。これまで早ければ8月のFOMCで利上げとの見方は後退し、一時は年内に0.75%(0.25%×3回)の利上げを織り込んだ市場も、現在は0.5%程度の利上げ幅を織り込む内容へと変化している。一方で、ECBは7/3の理事会で利上げに動く可能性が高く、金利差拡大の面からユーロが買われやすい地合いとなっている。さすがに1.60ドルを超えるようなユーロ高に対しては、ドル安を懸念する米国、そしてECBともに嫌悪感を示すものと考えられるが、目先は1.59ドル狙いの流れが続く可能性が高い。また、原油相場はついに140ドル台へと到達、燦るインフレリスクと、年初来安値を更新したNY株に象徴される信用不安とが、金の強力な買い材料となっている。

さらに、週明け30日には東京証券取引所にて金ETFが上場される。既に上場されている大阪証券取引所のものとは異なり、こちらは販売量に応じて金の現物を一定量確保することが義務付けられている。上場の成否はすぐには判明しないものの、新たな金需要が生まれることには違いない、これも買い材料視されるものと思われる。金ETFと言えば、NYSEにて上場されて以降は機関投資家の資金を集め続けていることで知られている。日本の宝飾店の店頭ではまだ換金売りのほうが強いようだが、証券と同じ口座で管理できるとあって、潜在ニーズは高いものと判断したい。いろいろと買い手掛かりの多い金を買って持ち、ヘッジには上値の重い白金を売る戦略が良いだろう。

◆ 添付されている『取引の重要事項』をかならずご確認ください。

## ▼商品先物取引のリスクについて

商品先物取引は、相場の変動により利益も損失も生ずるおそれのある取引です。また、取引本証拠金の額に比べて約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、預託した取引証拠金の額を上回る損失が発生することがあります。

## ▼取引証拠金とレバレッジについて

商品先物取引は委託に際して取引証拠金の預託が必要となります。お取引を始める際に預託する取引本証拠金の額は商品により異なり、最低取引単位(1枚)あたり13,000円から210,000円でお取引いただけます。但し、実際の取引金額は取引本証拠金の額の約15倍から約40倍という著しく大きな額になります。また取引証拠金等は、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがありますので注意が必要です。またその額は、商品や相場の変動によって異なり、一様ではありません。  
※上記取引証拠金は2008年6月1日現在の金額です。

## ▼取引手数料について

商品先物取引の委託には委託手数料がかかります。その額は商品によって異なりますが、最低取引単位(1枚)あたり1,154円(往復)から18,270円(往復)となります。  
※上記委託手数料は2008年6月1日現在の金額です。

## ▼自己判断

この資料は投資の参考となる情報提供を目的とするものです。投資の決定はご自身の責任と判断でなされますようお願い申し上げます。

※エイチ・エス・フューチャーズは日本商品先物取引協会に加入しております。  
※当社の企業情報に関するディスクロージャー資料は当社(本社・支店及びホームページ)又は、日本商品先物取引協会(本部・支部及びホームページ)で閲覧できます。

※お取引に関する苦情・ご相談は、下記の窓口にて承っております。

エイチ・エス・フューチャーズ 苦情相談センター

TEL: 0120-50-4288

東京都新宿区西新宿5丁目3番2号

日本商品先物取引協会 相談センター

[本部]

TEL: 03-3664-6243 東京都中央区日本橋小網町9番4号 日商協ビルディング3階

[中部支部]

TEL: 052-220-1652 愛知県名古屋市中区丸の内1-16-2 商品取引所ビル2階

[関西支部]

TEL: 06-6543-8502 大阪府大阪市西区阿波座1-10-14 関西商取ビル4階

商品取引員 エイチ・エス・フューチャーズ株式会社  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿5丁目3番2号 TEL: 03-3299-0301(代表)